

社員のストレスチェック

F i N C

インターネットを活用した健康支援を手掛けるベンチャーフィンанс（ベンチャーフィンанс）は、12月から企業に義務化されるストレスチェック関連サービスを始める。国が推奨する質問票の倍の項目を用意してテストを実施。その結果をもとに、社員に対し食事や運動など健康管理のアドバイスをする。必
要に応じて医療機関も紹介する。来年度中に1千社への導入を目指す。

同社では2倍にあたる110項目を設け、社員の健康状態をより細かく把握できるようになる。国社員に対し、専門機関を紹介したり医師との面談をセッティングしたりすることもできる。
希望に応じて、個人の仕事の生産性や生活の充実度合いなどのテーマについて、業務が偏るすぐれの質問には含まれてない。結果を部や課ごとに集計することで、専用アプリを使い、「雇用になるなど、希望する社員には同社が提供している」ということを実現する。
社員には、専用アプリを使い、「雇用になるなど、希望する社員には同社が提供している」ということを実現する。

来月から企業に義務化

質問数、国基準の倍



FINCの新サービスはスマホ上で簡単に「ストレスチェック」の結果を見られる

従業員50人以上の企業を対象にした「ストレスチェック」では、年1回の心の健康状態の確認が義務付けられる。社員のイライラや落ち込みなどを心身のストレス反応を調べて計測する。高いストレス反応を受けた社員を早期に発見し、心身の不調を未然に防ぐのが目的だ。

サービスは今月20日から始める。紙ベースのほか、社員の持つスマートフォン（スマホ）からもテストを受けられる。国が公開し、推奨する質問票は57項目からなるが、

同社では2倍にあたる10項目を設け、社員の健康状態をより細かく把握できるようにする。国社員に対し、専門機関を紹介したり医師との面談食にサラダを取ってください」など助言する。テストの結果で医療機関に行くほど重度ではないが、ストレスの多さが気するという。

精神的な負担が重いなど仕事の生産性や生活の充実度合いなどもテストして、業務が偏りやすくすることもできる。

になるなど、希望する社員には同社が提供している個別サービスを紹介。ストレスを軽減するためのプログラムをつくり生活改善を指導する。

サービスは今月20日から始める。紙ベースのほか、社員の持つスマートフォン（スマホ）からも音声（スマホ）で受けられる。国が公開し、推奨する質問票は57項目からなるが、

同社では2倍にあたる110項目を設け、社員の健康状態をより細かく把握できるようにする。国際問診票には含まれない仕事の生産性や生活の充実度合いなどもテストするという。

心療内科や精神科など専門の診療科目をもつた全国83の医療機関と提携する。法律では、社員が「高ストレス」と判断された場合、医師による面接指導の実施や職場の改善などが求められることもある。高いストレスを感じていると診断された

社員に対し、専門機関を紹介したり医師との面談をセッティングしたりすることもできる。

希望に応じて、個人の結果を部や課ごとに集計して、業務が偏りやすく精神的な負担が重いなど組織ごとの特徴を割り出す。部署ごとに健康に関する目標を掲げて、ストレス軽減のための職場環境などについて情報交換することもできる。

フィンクは個人向けに健康指導サービスを手掛けている。管理栄養士やトレーナーらがスマホの

専用アプリを使い、「昼食にサラダを取つてください」など助言する。テストの結果で医療機関に行くほど重度ではないが、ストレスの多さが気

掲載日 2015年11月20日 日経MJ（流通新聞） 006ページ

(C) 日本経済新聞社 無断複製転載を禁じます。